

上吉沢地区防災マニュアル (風水害・土砂災害編)

—地区内危険箇所と避難方法について—

1. 地区の災害特性・危険箇所等の把握

居住地域の地形・危険箇所を把握し、どのような災害が発生し易いのかといった災害特性を把握しておくことが迅速な避難行動につながるようになります。

2. 上吉沢地区災害発生時の地区特性

〈全体〉

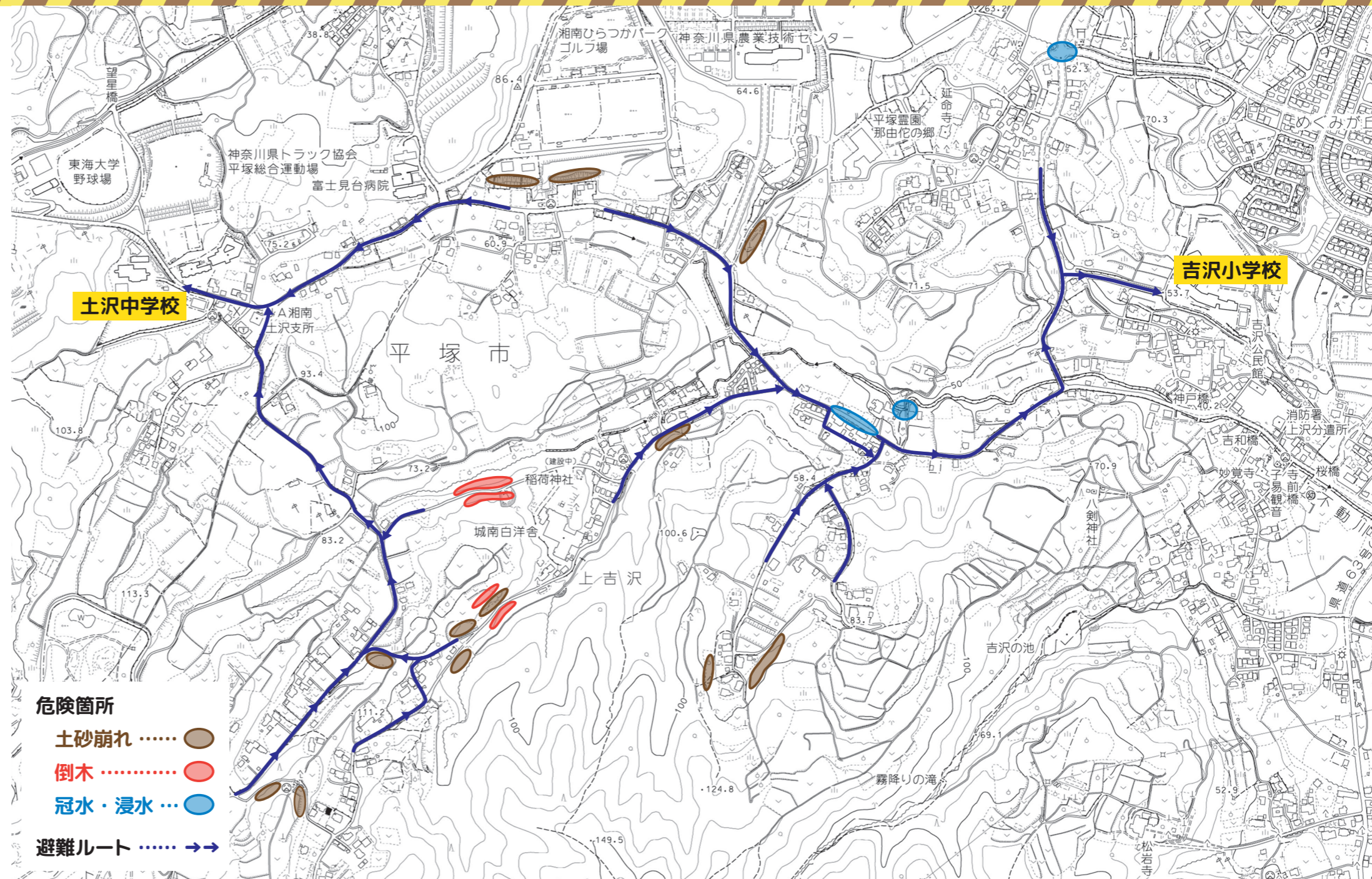
上吉沢地区を市道15号線を境に〈北東側〉と〈南西側〉とに大別すると、両地区にはかなり差異があるように思われます。

〈北東側地区〉

「台地区」を中心とした比較的平坦な地域であり甚大な災害が発生する危険性は低いものの、一部に集中豪雨による冠水危険箇所が認められます。

〈南西側地区〉

「山入・四十畑・山田屋敷・笠神・飛谷津・山ノ神地区」、この地区には急傾斜地が多くあり土砂崩れおよび倒木による幹線道路の寸断が予想される地区です。また、一部には「孤立化」が懸念される地域もあります。



3. 避難行動・避難場所

〈台地区〉

地区北側交差点付近の冠水に注意し、「吉沢小学校」を避難場所としてください。

〈山入・四十畑地区〉

土砂崩れおよび倒木が予想される場所がいたる所にあり、道路寸断だけではなく家屋等への直接的被害も予想されます。したがって、早めの避難行動が重要であり「吉沢小学校」への避難が困難な場合は「土沢中学校」への避難も選択肢としてください。

〈山田屋敷地区〉

東側にマムシ沢と呼ばれる急傾斜地があり幹線道路側への土砂崩落が予想されることから、早めの避難行動が求められ「吉沢小学校」へ避難してください。

〈笠神地区〉

吉沢小学校への避難に際し、山ノ神バス停付近の冠水により通行困難な時は南側の小道を抜け避難することも選択肢としてください。

〈飛谷津地区〉

県貯水場南側にかなり広域な急傾斜地があり、大規模な土砂崩れが発生し幹線道路の途絶が生じた場合には「吉沢小学校」へ避難し、状況によっては「土沢中学校」への避難も選択肢としてください。

〈山ノ神地区〉

この地区の南西側奥まった地域一帯は、山入・四十畑地区と同様急傾斜地があり早めの避難行動が求められ「吉沢小学校」へ避難してください。

3. 避難行動・避難場所

上吉沢地区は、地区によって避難行動をとるべき初動時期・状況が異なり、また細かい避難ルートを予め想定しておくことにも困難さがあります。したがって、各区毎の実状に即したより身近な「避難等マニュアル」の策定を検討してゆきます。

災害の内容は多様でありそれぞれに応じた災害対応（避難行動）が求められ、最良の災害対策は「自己判断」「自己責任」で行動することであり、当マップがこれら判断の一助となれば幸いです。